

かいづあつこ 海津敦子新聞

atsukok@abelia.ocn.ne.jp

連絡先 電話 080-3027-2758 住所 文京区小石川4-14-24-107

学校、子育て、介護、ご近所トラブル等々、気軽にご相談ください。一人で、家族だけで抱えて悩んでいると迷路へ入ってしまうことがあります。あなたの「今」に間に合うように解決策を共に考えていきます。ご相談内容に応じて専門家とも連携します。

海津敦子 区政の相談室

徹底的に区民目線で区政をチエック!

あなたの「今」に間に合うように 子育て・教育、福祉の専門性をもってより良い文京区を

かいづあつこ 所属委員会 ◆ 文教委員会 / 議会運営委員会 / 自治制度・地域振興調査特別委員会 / 議会広報小委員会 / 意見書等調整小委員会

文京区公的窓口一覧

年々増える大規模災害 もしも被災してしまったら!?

住まいのこと

災害の証明
保険や税金の免除を受けるために必要な証明書の発行。最寄りの地域活動センターで発行可能。
住所から管轄の地域活動センターを見つければOK。
被災状況はできるだけ写真を撮っておく

礪川	地域活動センター	3813-3638
大原	地域活動センター	3946-8594
大塚	地域活動センター	3947-2624
音羽	地域活動センター	3943-0621
湯島	地域活動センター	3813-6554
向丘	地域活動センター	3813-6668
汐見	地域活動センター	3827-8149
駒込	地域活動センター	3824-5801
根津	地域活動センター	3822-3653

応急危険度判定 5803-1264 [文京区建築指導課]
建物の当面の使用の可否についての判定

被災住宅の補修や債券 5803-1374 [文京区住環境課]

被災者のための住宅提供 5803-1374 [文京区住環境課]

被災住宅の応急修理 5803-1374 [文京区住環境課]
被害を受けた自宅を自らの資力では応急修理ができない世帯の居室・トイレ等の部分修理

障害物の除去 5803-1374 [文京区住環境課]
日常生活に不可欠な部分の障害物の除去

お金のこと

被災者生活再建支援金 5803-1201 [文京区福祉政策課]
災害により居住する住宅が全壊するなど、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に支援金を支給し、生活の再建を支援

災害弔慰金 5803-1201 [文京区福祉政策課]
災害で亡くなった方の遺族等に支給

災害障害見舞金 5803-1201 [文京区福祉政策課]
災害で著しい障害が出た方に支給

災害援護資金の貸付 5803-1201 [文京区福祉政策課]
被災した方の生活の建て直しの支援

緊急小口資金の貸付 3812-3040 [文京区社会福祉協議会]
災害によって一時的に生計の維持が困難になった場合

生活福祉資金の貸付 3812-3040 [文京区社会福祉協議会]
災害を受けたことにより臨時に必要な経費

非常災害向け緊急事業資金融資 5803-1173 [文京区経済課]
被災した中小企業への資金融資

災害復興住宅融資 0120-086-353 [住宅金融支援機構]
被災した住宅を復旧するための住宅ローン

お店や会社のこと

被害を受けた個人商店や中小企業等々、商売に関わることで
03-5803-1173 [文京区経済課]

役所での手続き

税金、介護保険料、年金保険料、保育料等々の減免や徴収猶予の問い合わせ
3812-7111 [文京区代表]

ご注意を!!

- 「損害保険を使って自己負担なく住宅の修理ができます」や「保険の申請を代理しますから修理しましょう」といった詐欺にご注意を。
- 保険金がおりる前に契約をしないこと。保険会社に相談を!

首都直下型地震の全半壊で7/10人が「住宅なし」に!

*住宅が必要となる人のうち

仮設住宅が不足し避難所生活が長期化すると、二次健康被害で、生活不活発病(歩けなくなる・うつ病など)や災害関連死のリスクも増大。避難所生活であっても自分らしい生活を過ごせる「質の向上」が必須です。普段出来ない事は災害時にも出来ません。障害の有無にかかわらず過ごすことも。避難所＝学校の有効活用は日頃から慣れておくことが大事です。



首都直下地震発生時の仮設住宅シミュレーションについてはこちらから(NHK首都直下仮設シミュレーション)

避難所生活の質の向上

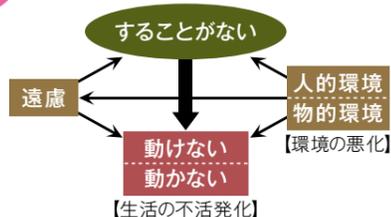
現状 災害大国・日本は、災害対応後進国

保育園・幼稚園・学校の備蓄不足
足りない・遠い・危険なトイレ
プライバシーはゼロ
福祉避難所不足
複合災害
惨事ストレス

「避難所＝我慢と忍耐」はもう終わりにしよう!

▶ **スフィア基準***で避難所生活の質の向上を
*紛争や災害による被災時でも、安全・安心に誰もが自分らしい生活を送るための国際基準

現状 「動けない」ことから「生活不活発病」が多発!



生活不活発病は日中の活動量が減り心身両面の機能が衰えてしまう症候群のこと。例えば「入院がきっかけで心身が衰え、認知症が進行した」ケース。避難所生活は狭いスペースで身動きが取れず活動量が著しく低下することから生活不活発病の多発が課題。防ぐには自発的に活動できる仕組みの整備が必須です。

▶ 避難者が「動きたくなる」仕組みと環境を

避難所＝学校の活用促進を

建替え時がチャンス!
災害時を想定した設計を

平時	避難者同士で音楽や料理を楽しむ・図工室で工作・図書室で読書等自由に「やりたいこと」ができる
災害時	障害の有無にかかわらず誰もが気軽に使えるよう、地域開放時には児童の個人情報を守る設計を

地域開放 平時から普通教室以外の家庭科室や音楽室・図工室・図書室等の地域開放を基本とすれば、地域住民の活動の場となり、文京区が推進する「地域福祉の推進」の有効策となります。その上、避難者が気軽に「やりたいこと」ができる「活動時間」を確保でき、生活不活発病等の二次健康被害を防ぐ手立てになります。そのためには、児童とは別の動線を確保する等、設計段階から組み込むことが必須です。

そのために



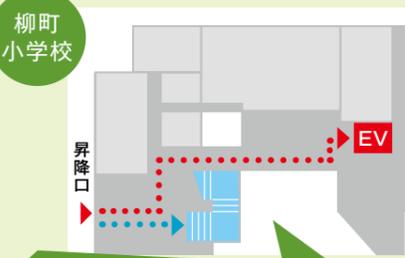
学校の地域開放で、平時も災害時も地域住民の心身の健康を守ります

東京オリンピック・パラリンピック

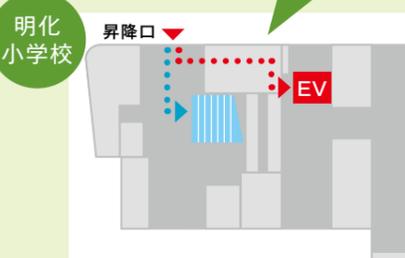
掛け声は「誰もが公平に」。でも実態は？

ベビーカーでエレベーターを利用したとき等、遠回りをした経験はありませんか。車いす利用の方が目的地に行くには、通常より何倍も時間と労力をかけなくてはならないのが現状。...

しかし、文京区立小の建替えは、エレベーターを利用する人に遠回りを強いるもの。合理的な理由は何ひとつありません。建替えを期に階段近くへのエレベーター設置は可能です。...



階段は昇降口の近くにあるのに、エレベーターは遠くて不便…。誰もが同じ動線で利用出来るよう設計見直しを！



介護 疲弊してしまいう前に...

家族一人ひとりが人生を楽しむ

家族の介護が必要なとき、介護される人にとっても介護する側ができるかぎりストレスをためずに、ゆとりを持って居ることは不可欠。...

介護人材不足の解消を

介護人材の不足解消は最優先課題です。賃金の引き上げや、住宅手当など勤務条件の整備と共に、職員一人あたりが看る利用者の人数を手厚くして、職員数を増やす等を行えるよう区の支援の拡充を求めています。

認知症、がん等に罹った人や家族の相談窓口

高齢者あんしん相談センター

Table with 2 columns: Location (富坂, 大塚, 本富士, 駒込) and Phone Number (3942-8128, 3941-9678, 3811-8088, 3827-5422).

月～金(9～19時) / 土・日・祝日(9～17時半)

2020年度・学級数の推計

Table with 4 columns: School Name, 2019, 2020, 増減. Lists schools like 礫川, 柳町, 指ヶ谷, etc.

人口推計【6-11歳】 2019年 10864人 2024年 13201人 +2337人

9教室(約300人分)増加。しかし、2024年までに残り約2000人分の教室確保は可能でしょうか？

これまでも教育委員会は、各小学校の教室数の予測を出しています。しかし平成25年度の予測では、平成30年度・窪町小学校の学級数は18学級と推測していましたが、現在は24学級。6学級もの差がありました。

窪町小学校は改築で、子ども達の多様な教育活動を支えるため少人数学習、グループ学習等の多様な学習形態や、複数学年による学習等の弾力的な集団による活動を可能にする教室を整備しました。

5年後には小学生が2300人増える試算

すでにランチルームや少人数教室、パソコンルーム等がなくなっている

学校 人口増で教室が足りない

不登校

不登校が全国や都より高い出現率である文京区。不登校支援の中核拠点である「ふれあい教室」は、不登校の子どもに寄り添うノウハウを持った事業者への民間委託を図った方が、より子どもたちの居場所となり、学びも保証できると考えます。

小石川図書館改築へ

小石川図書館改築では「誰ひとり取り残さない」改築を要望。どのような体格や身体機能の人も利用しやすいスペースや棚の高さ。課題解決型の図書館、学習室、対話学習もできるスペース、小さな子どもも図書館に親しめる等人と人がつながる複合型の図書館を求めます。

学校

「文の京」の教育が危うい！

転入人口増を見据えた見直しが必要

柳町小学校区域の共同印刷社敷地には、区内最大規模になると見込まれるマンション建設計画があり、今、学校の改築設計には反映されていません。また、礫川小学校区域には春日後楽園再開発で700世帯が新たに入居する予定ですが、学校の環境整備は未定です。

える部屋や、「子どもたちのためのゆとりある空間」が普通教室に転換されています。何のために整備したのか、意味がありません。開校してわずか10年の音羽中学校では、通学区域内の生徒さえ受け入れ困難なほど深刻な教室不足です。

「多様な学習活動」ができる環境を 新築で開校した本郷小学校も窪町小同様に「多様な学習活動を支

子ども一人ひとりが、主体的に学べる教室確保の再検討が待たなしです。

親と子を社会で支える — 専門家につながる体制を —

児童相談所

文京区は令和4年(後半)に児童相談所開設を目指していましたが、人材確保が難しいことから延期に。子どもの立場に100%立ち、子どもの声を徹底して聞く、思いや不満を受け止める人材を育成する方向です。

ステップファミリー

子どもがいての再婚・事実婚のケースもあり、血縁のない親子関係やきょうだい関係がスタートする子どもも少なくありません。そうした血縁関係のない家族形態「ステップファミリー」の中で暮らしていく子どもや親がストレスや悩みを抱えたときに、専門性を持って応えていける相談体制の構築を求めています。

特別養子縁組

「特別養子縁組」とは、子どもに暖かい家庭で幸せになってもらうため、養子となる子どもの実親(生みの親)との法的な親子関係を解消し、育てる親が実の子と同じ親子関係を結ぶ制度で、児童相談所の業務です。

出生前診断と検査後の相談体制

妊娠した折に採血し、ダウン症などの可能性がわかる新型出生前診断(NIPT)を受ける人が増えています。検査の結果や、検査で染色体や遺伝子に変異があることが分かった妊婦及び家族に対して、適切な遺伝カウンセリングを実施することができるよう相談体制を整備し、不安や疑問等に丁寧に寄り添っていくことが重要です。